資 料 1

第２期宮城県多文化共生社会推進計画策定の流れ

第１回審議会（６月）

◎第２期計画の構成の検討

現行計画の基本理念，基本方針を継承

計画期間：H26 年度～H29 年度【５年間】
※著しい変化が生じた時は随時見直し

外国人県民を取り巻く課題として震災の経験を元にした新たな課題を追加

◎地域とのつながりの希薄さ

◎活躍の場の不足【特に地域活動】

『意識の壁の解消』に向けた
新たな施策の方向性・取組方針・具体的取組内容を追加

◎新たな施策の方向性
『外国人県民等と地域住民との連携の推進』

◎取組方針
意識の壁の解消に向けた外国人県民等と地域とのつながり

◎具体的取組内容
・地域住民との交流の促進
・防災訓練への参加促進
・防災知識の普及啓発

『言葉の壁の解消』に向けた
◎情報面からの生活の安全・安心の確保
◎多言語化支援　における
具体的取組内容を追加

・地域間連携による多言語化の推進

『生活の壁の解消』に向けた
◎能力発揮の促進
◎活躍の支援　における
具体的取組内容を追加

・地域活動への参加促進

『将来の課題のへの対応』としての
◎共生する体制の構築　においては

経済のグローバル化や企業進出等に伴う外国人の転入への速やかな対応を推進

◎現行計画の評価指標の推移の確認

⇒新たな指標設定が必要　⇒要検討

・『意識の壁の解消』に係る“基本理念”の啓発に関する目標指標，
・『生活の壁の解消』に係る“活躍の支援”に関する目標指標

◎多文化共生施策の実績・課題の確認

・事業者に対する啓発、母国語・母国文化教育の支援が未実施（県）
・市町村による施策推進のあり方についての再考

第２回審議会（9 月上旬）

◎第２期計画の骨子案の検討

・現状と課題
・具体的取組内容
・評価指標の検討
・前回審議会での意見への対応
・関係機関の役割分担と今後のあり方の確認

第３回審議会（10 月下旬）

◎第２期計画の中間案の検討

・計画文案の検討
　・評価指標の決定
　・関係機関からの意見反映

パブリックコメント

第４回審議会（12 月下旬）

◎第２期計画の最終案の検討

１月中旬　**審議会からの答申**

２月　**２月県議会へ提出**

３月下旬　**公　表**